



オンライン参加を含め約30人が聴講

## 資源を理解し地域活性化

### 地熱に根差したまちづくりを学ぶ

地熱マスター講習会は2月11、23の両日、オンラインと市役所で開かれ、参加者は火山や地熱資源に理解を深めました。

2日間で全4コマの講習を実施し、1コマ目は県立大学の渋谷晃太郎教授がSDGsをテーマに講演。「環境・経済・社会を総合的に考えてほしい」と呼び掛けました。参加した松浦清功さん＝堀切＝は「地熱に興味があり参加した。地熱と共生していく方法など多くのことを学ぶことができた」と感想を述べました。



吉田さん(中央)、2位の山口さん(右)、3位の遠藤さん

# 話題

## ピックアップ

皆さんからの情報をお寄せください。  
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202

## 熱い思いを北京へ届ける

### 田山小の児童らが雪だるまを作成

田山地域振興協議会(野中政蔵会長)は2月1日、市出身者4人が出場する北京五輪の機運醸成を願い、田山グラウンド付近に雪だるまを作りました。

全長3mを超える雪像の土台は、地元住民が作成。田山小の1、2年生が手作りした手や足などのパーツを思いを込めながら飾り付けました。

佐藤絢心さん(2年)は「手を付けるのが楽しかった。雪だるまを見た人たちが楽しい気持ちになってほしい」と笑みをこぼしました。



同様の雪だるまを田山地区5カ所に設置

## 友好願ってデザイン考案

### 平館高がルワンダ・日本国交樹立60周年ロゴ製作

ルワンダ・日本国交樹立60周年ロゴマーク製作に係る表彰式は1月24日、駐日ルワンダ共和国大使館と平館高をオンラインで結び、3位までを表彰しました。

同大使館が、平館高にデザイン製作を依頼。1位に選ばれた吉田鈴さんは「互いの国旗に描かれる太陽を一つにし、両国の平和と絆を願ったもの。選ばれてうれしい」と微笑みました。ロゴマークは、60周年を記念する文章を追加する以外には手直しをせず、ほぼそのままのデザインでピンバッチやシールになるそうです。



ルワンダ国旗の手ぶり旗を持つ平高生



富国生命浅野光政盛岡支社長(左)と佐々木孝弘市長

## 地域全体で見守り強化

### 民間事業者と協力し高齢者や子どもを見守る

市と富国生命保険(相)、(有)松本新聞店、岩手日報平館センター、工藤新聞店、(有)NEWS西根営業所の5事業者は2月9日、市役所で高齢者等見守りネットワーク事業協定を結びました。

民間事業者と協力することで、高齢者などの異変を早期発見し、適切な支援につなげます。

松本新聞店代表取締役の松本光平さんは「事件、事故の早期発見につなげ、安心して暮らせるまちづくりのために協力していく」と意気込みを示しました。



少し弾力のある重さ400gのボールを放る

## 狙いすました一投に歓声

### 室内ペタンクで大盛り上がり

松尾コミュニティセンター(田村英典センター長)は1月26日、同センター体育室でペタンク大会を開き、松尾地区全域から10チーム33人が参加しました。

ペタンクは、黄色の標的に向かって2チームで交互にボールを投げ、どれだけ近づけるかを競うスポーツ。参加者は、投げた球の行く末に一喜一憂しながら競技を楽しみ、会心の一投に歓声を上げました。

参加した菊池則道さん＝南寄木＝は「休みながらのプレーでも良い運動になる」と額の汗を拭きました。

## すなっぷギャラリー



JRC創設100周年県ポスターコンクールで個人(嶺岸あお(左))、団体で銀賞を受賞(2月2日、西根中)



鈴木真司さん＝渋川開拓＝が県青年農業士に認定(2月1日、サンセール盛岡)



東慈寺保育園の年長児16人が昨年9月に定植したイチゴを収穫(1月24日、サラダファーム食育体験)



県内から12チームが参加し、真冬の熱戦を満喫(2月5、6の両日、第10回八幡平エンジョイ雪合戦大会)



2年ぶりに開催し、滑走と射撃の腕を競う(1月22、23の両日、第31回東日本バイアスロン選手権大会)